

事務事業名		簡易水道送配水管等施設整備事業			☒ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	01潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 16 01 01 02 04																								
	施策名	02良好な生活空間の創造																												
	基本事業名	02上水道・簡易水道の整備																												
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																									
所属	部課名	都市整備部 簡易水道事業所																												
	係 名	簡易水道係	電話 内線	0192-27-3111 205																										
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本工事は、道路改良工事区間において、道路線形及び縦断計画の変更に伴い、現道に埋設されている簡易水道送配水管の計画路線への布設替や、工事により支障となる簡易水道送配水管の布設替、消火栓の設置、住宅建築等により地域から新たに配水管の延伸を要望された箇所への配水管布設を行なう事業である。 平成22年度は、越喜来簡易水道の老朽等による漏水がある配水管の布設替え(L=350m)を予定している。 また、建設課事業である市道越喜来中学校線逢野橋架け替え工事に伴う、配水管布設替え(L=30m)を予定していたが、災害により、工事中止となった。今年度の工事予定箇所は、浸水区域内であることから、今後の道路整備・復興計画等を考慮しながら事業を進めて行く必要がある。																														
全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)		0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
事業費計 (A)		0																												
人件費	正規職員従事人数																													
	延べ業務時間																													
	人件費計 (B)	0																												
トータルコスト(A) + (B)		0																												

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標								
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 県道大船渡綾里三陸線配水管布設L=640.0m					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)			
					名称			単位
					ア	送配水管布設延長		m
					イ	消火栓設置		基
今年度計画(今年度に計画している主な活動) なし					ウ			
					対象指標(対象の大きさを表す指標)			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 布設替が必要な送配水管 新規布設が必要な配水管					名称			単位
					カ	切替が必要な送配水管		m
					キ	新規布設が必要な配水管		m
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 現道に埋設されている送配水管の布設替及び新規に布設が必要な配水管の布設を行なう					ク			
					成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)			
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)					名称			単位
					サ	切替が完了した送配水管延長		m
					シ	新規に布設した送配水管延長		m
					ス			

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
単位										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円					29,200	13,800
			その他	千円	0	25,100	16,998	10,419	776	3,617
			一般財源	千円						
	事業費計(A)			千円	0	25,100	16,998	10,419	29,976	17,417
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	0	330	270	190	180	160	
		人件費計(B)	千円	0	1,320	1,080	760	720	640	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	0	26,420	18,078	11,179	30,696
活動指標		ア	m	0	402.4	557.7	111.9	651.5	330	
		イ	基	0	0	1	1	1	1	
		ウ								
対象指標		カ	m	0	297.4	176.1	111.9	0	330	
		キ	m	0	105	381.6	0	651.5	0	
		ク								
成果指標		サ	m	0	297.4	176.1	111.9			
		シ	m	0	105	381.6		651.5		
		ス								

事務事業ID	0711	事務事業名	簡易水道送配水管等施設整備事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

県道及び市道に簡易水道送配水管が埋設されている区間において、道路改良工事を行われる際に、計画路線に送配水管を埋設しておかないと将来的に管理上問題が発生すること、及び、道路改良工事により直接送配水管が支障になることから本事業を行なうこととなった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

県道大船渡綾里三陸線小石浜工区の道路改良が平成18年で完了したことから、県道部では当面大きな整備はないが、市道部では道路改良等に伴い布設替が発生する可能性がある。また、今後は、管の老朽化等により更新しなければならない箇所が発生してくる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 簡易水道施設の整備は、良質な水を安定的に供給することにつながり、その結果、快適な都市環境の整備につながる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 上水道の整備は水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 他事業である道路改良工事に伴い発生する送配水管の布設替及び地域の要望に基づいた配水管の布設であり対象は限定されている。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 現在使用されている送配水管の布設替及び地域要望があった区間の配水管布設であり、成果の向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事業を廃止・休止すれば道路改良工事に支障がでる。また、配水管が布設されていないため給水できない家庭が残される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 他に類似事業はなく、ライフラインに関わる極めて公共性の高い事業であるため、現状では他の方法は考えられない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 既設送配水管の布設替及び新規の配水管布設は工法が限られるため削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 設計業務等は委託を予定しており、工事発注・監督等の業務は必要最小限の人数で対応していることから削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 簡易水道使用者からは給水負担金及び水道料金を徴収しており負担は適正である。

事務事業ID	0711	事務事業名	簡易水道送配水管等施設整備事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 特になし									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 本事業は安定した水道水の供給による住みやすい生活環境の整備のために、引き続きすすめていく必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	簡易水道事業所長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 特になし									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 本事業は、安定した水道水の供給による住みやすい生活環境の整備のために、引き続きすすめていく必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
